

第20回 世界歴史都市会議への招待

於：姫路市 日本
日程：11月10日（火）～12日（木）

メインテーマ

持続可能で強靱な未来に向けた文化遺産の保存と活用

2026年11月、姫路市が第20回世界歴史都市会議の開催地として、世界各地から皆さまをお迎えできることを大変嬉しく、また光栄に存じます。

姫路市は、2021年に世界歴史都市連盟に加盟いたしました。2024年にスロベニア・リュブリャナ市で開催された第19回会議には現地参加し、「持続可能な都市モビリティによる活気ある歩きやすい市街地づくり」をテーマに、参加都市の多様な政策を学ぶことができ、大変有意義な経験となりました。

姫路市は、築城400年を超え、日本で初めて世界文化遺産に登録された姫路城に象徴される歴史と文化を有する都市です。また、多くの文化財や祭り、伝統工芸、地場産業など、豊かな地域資源が長年にわたり受け継がれてきました。

1995年の阪神・淡路大震災の経験から、市民のくらしを守るとともに、これらの貴重な資源を後世に引き継ぐため、強靱なまちづくりへの取組を推進してまいりました。

第20回会議では、「持続可能で強靱な未来に向けた文化遺産の保存と活用」をテーマに、SDGs目標11のターゲット4の実現に向け、世界各地から集まった歴史都市が、文化遺産を後世に引き継ぐための知見や経験を共有いたします。これにより、参加される皆さまが文化遺産保護への意識をさらに高め、安全で安心な社会の形成につなげていただけることを期待しております。

世界歴史都市会議は、歴史都市が直面する課題に対し、経験と成果を共有する貴重な場です。多くの皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げます。

姫路市長 清水秀泰

世界歴史都市連盟会長/京都市長 松井孝治

基調講演者の御紹介

河野俊行

九州大学高等研究院・特別主幹教授

国際イコモス名誉会長

河野俊行教授は、九州大学にて「グローバル・バリュー・チェーンにおける国際私法の研究」や「ヘリテージ・エコシステムの解明と理論化に関する研究」を専門とされています。2017年には、日本人として初めて国際イコモスの会長を務められました。

これまで、ユネスコの無形文化遺産条約や文化多様性条約の起草、プータンにおける文化遺産法整備支援などに携わり、文化遺産保護の理論と実践において国内外で活発に活動されています。特に、「ヘリテージ・エコシステム」を提唱し、文化遺産を単なるモノとしてではなく、地域社会、自然環境、人間活動などと相互に作用する「システム」として捉える考え方にに基づき、持続可能な文化遺産の保存に取り組まれています。

本会議の基調講演では、こうした視点から文化遺産の保存と活用や歴史都市の未来像についてお話いただきます。

公式ウェブサイトの開設及び参加登録

公式ウェブサイトを御確認の上、参加登録をお願いします。

登録締切：9月30日（水）※ 定員になり次第締切

全体定員：200名

なお、日本国内の自治体を対象に、以下の特別料金を設定します。

カテゴリー：会議登録（宿泊・空港送迎なし）

登録料（一人）：10,000円（税込み）

備考：会議登録には以下を含みます。：

・会議参加（11月10日～11月12日午前）

・会期中の食事（10日：昼食、夕食、11日：昼食、夕食）

・姫路城及び好古園の視察

※ 姫路市、京都市、奈良市へのエクスクーションは含みません。別途お申込みください。

※ 宿泊及び空港送迎は含みません。宿泊や空港送迎の手配を希望される場合は、「会議登録（税込み80,000円）」での登録をお願いします。

※ 本登録は、日本国内の自治体に限ります。

注意事項

- ・ 参加登録にあたって、1人ずつアカウント（マイページ）の作成が必要です。支払い等必要な手続きはすべてマイページを通して行われます。
- ・ 会議に参加される方々は、各種マスメディアに撮影された写真や動画等が、新聞・テレビ・SNS等で公開される可能性があります。また、主催者等による記録写真に参加時の活動及び肖像が残り、これらは姫路市や世界歴史都市連盟等の活動に係る印刷物やホームページ・SNS等に使用される場合があります。会議登録をもって、これらに同意したものとみなします。

スピーカー＆参加者募集

-ラウンドテーブル-

サブテーマ「文化遺産保存のための持続可能な未来の共創」
カテゴリー（R1）適応によるレジリエンス
カテゴリー（R2）気候変動への行動

申込締切：6月30日（火）

※ 応募状況によって延期の可能性があるため
公式ホームページで御確認ください。

概要提出：7月31日（金）

-市長セッション-

サブテーマ「文化遺産の保存と活用の好循環の構築」
カテゴリー（M1）継承による保全
カテゴリー（M2）すべての人の幸福のための参画
カテゴリー（M3）持続可能な歴史都市へのイノベーション

申込締切：7月31日（金）

概要提出：8月31日（月）

※ 応募都市が定員を超えた場合は、発表内容の概要をもって選考が行われます。

※ 会議当時の発表方法や使用可能な機材などの詳細については、発表者確定後、個別に案内があります。

-絵画展示-

テーマ：「わたしのまちの宝物」
募集要件：会議に出席する都市に在住の小学生（6歳～12歳）

-英語スピーチコンテスト-

テーマ：「世界に伝えたいわたしのまち」
募集要件：会議に出席する都市に在住の中学生・高校生（12歳～18歳）

※ 参加を希望する都市は、各都市で申請内容を取りまとめ、9月30日（水）までに申込書を提出ください。

エクサクション 訪問先詳細 姫路市・奈良市・京都市より選択

姫路市（どちらか1つを選択）

○漁業見学ツアー

姫路市は瀬戸内海に面した自然豊かなまちです。本ツアーでは、沖合に浮かぶ家島諸島のクルーズを実施し、漁業の様子を見学いただけます。海で起きている諸課題や持続可能な漁業の実現に向けた取組を、最前線で立ち向かう島の漁師達から直接学ぶことができます。昼食には、新鮮な魚介を使用した和食をお楽しみいただけます。

○書寫山圓教寺ツアー

本ツアーでは、姫路市北部にある書寫山山上に位置する圓教寺を訪れ、精進料理や写経など、僧侶の世界の一部を体験していただけます。圓教寺は約一千年前に創建された寺院であり、全国から多くの参詣者が訪れます。寺院の建物の多くが文化財に指定されており、自然と歴史的建造物がつくる荘厳な空間で日本の歴史と文化に触れていただけます。

奈良市

<奈良公園>

世界遺産・東大寺に隣接する東西4km、南北2kmに及ぶ広大で自然豊かな公園です。1,400頭以上の野生のシカ（国の天然記念物）が自由に暮らしており、「神の使い」として大切にされています。シカと触れ合ったり、煎餅をあげたりできる世界でも珍しいスポットです。

<平城宮跡>

1300年前、日本の首都として栄えた平城京の都城跡です。広大な敷地に復元された巨大な朱雀門や大極殿は圧巻のスケールです。当時の皇族や貴族の暮らしや、日本の国家の始まりを体感できます。現首相の高市早苗氏の生誕地である奈良市は、日本の古代の遺産と現代とを結ぶ架け橋として独特の魅力を有しています。ユネスコ世界遺産です。

<薬師寺>

薬師寺は、1300年以上の歴史を有するユネスコ世界遺産です。鮮やかな朱塗りの伽藍と、日本で最も美しい塔とも称され、「凍れる音楽」と讃えられる東塔（三重塔）で広く知られています。境内には、健康平癒を祈願する薬師如来（国宝）が祀られています。

京都市

<元離宮二条城>

二条城は1603年（慶長8年）、江戸幕府初代将軍徳川家康が、天皇の住む京都御所の守護と将軍上洛の際の宿泊所とするため築城したものです。1626年（寛永3年）、3代将軍家光の時、御水尾天皇の行幸のため、城内は大規模な改修が行われました。1867年（慶応3年）には15代将軍慶喜が二の丸御殿で「大政奉還」の意思を表明したことは日本史上あまりにも有名です。二の丸御殿、二の丸庭園、唐門など、約400年の時を経た今も絢爛たる桃山文化の遺構を見ることができます。1994年（平成6年）、ユネスコ世界遺産に登録された元離宮二条城は、徳川家の栄枯盛衰と日本の長い歴史を見つめてきた貴重な歴史遺産と言えます。

<仁和寺>

1994年にユネスコの世界遺産に登録された仁和寺は、文化財の継続的な保存・修復に取り組むだけでなく、特別拝観や文化的な催し、宿泊を伴う特別な体験、新たな鑑賞環境の整備などを通じて、これらの文化遺産の価値を現代に伝えるための様々な取組を推進しています。文化財を保護・修復しつつ、その価値を来訪者に伝えるこうした取組は、保存と活用の好循環の好例となっています。

<金閣寺>

1994年に世界遺産に登録された金閣寺にもご案内いたします。

事務局長就任挨拶

この度前任の西松卓哉氏より、事務局長の役割を引き継ぎ、2026年4月1日付で同職に就任いたしました、牧敬二と申します。

現在、世界各地で対立や環境問題が深刻さを増し、国際社会の基盤が揺らいでいます。このような混迷の時代だからこそ、長きにわたり「保存と開発」という共通の課題に向き合ってきた「歴史都市」が国境を越えて繋がりが合い、相互理解の架け橋となる意義は、かつてない重みを持っています。

2010年以来、久しぶりの日本開催となる「第20回世界歴史都市会議（姫路市）」は、その絆を確固たるものにする絶好の機会です。この重要な節目を契機として、会員都市の皆様との連携を一段と強化し、歴史遺産の確かな継承と世界の平和に向けて全力を尽くす所存です。皆様の格別のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

会議開催会場「アクリエひめじ」

「アクリエひめじ」は、姫路市のにぎわいと交流の拠点として、2021年に開館した大型複合施設です。本会議は展示スペースで開催し、ホールでは聴講者が参加します。世界遺産・姫路城を擁する本市の中心部に位置し、文化交流や学術発信の拠点として、第20回世界歴史都市会議にふさわしい場を提供します。

事務局からのお知らせ

-次期役員立候補受付-

現職の役員の任期は、第20回世界歴史都市会議期間中に開催される総会をもって満了となり、次期役員は、総会において加盟都市の中から選出されます。

つきましては、役員への立候補を希望する加盟都市は、2026年9月30日までに事務局へその意向を通知してください。

なお、任期は、選出された日から、4年後に開催され、後任者が選出される総会開催日までとなります。役員は再選される資格を有します。理事は、会長が年1回招集する理事会に出席しなければなりません。

<参考>

連盟規約第4章 役員
第10条 連盟に次の役員を置く。
(1) 会長 1人
(2) 副会長 2人
(3) 理事 7人
(内2人は、副会長とする。)
(4) 監事 1人
2 役員は、会員の中から選出し、その代表者とする。



世界歴史都市連盟事務局

京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地
lhcs@city.kyoto.lg.jp <https://www.lhcs.org>